



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 齋藤庄司
編集者 中堤聡司
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2010.11.10 第1427号

大会 特集号

第66回定期地方大会

組織拡大と職場の闘い強化を

「団員の雇用確保」本部に集中し進める

地方本部は、第66回定期地方大会を10月17日に若手労働福祉会館(盛岡市)で関係者約100人参加の中で開催した。

経過 方針では新幹線青森駅開業に伴う問題、JR不採用問題訴訟和解、一括和解後の職場の実態と合わせた組織強化・拡大、選挙闘争などが議論された。不採用問題訴訟和解については、高橋本部委員長から経過と雇用確保に向けた取り組みが報告された。

③10月の青森市議選、来春の統一自治体選挙で組織内候補の当選に全力をあげることを決定、意思統一した。
なお、大会終了後には不採用事件訴訟和解報告レセプションを開催した。

笹山、折戸氏の議長団で進行

大会は9時30分に阿部執行副委員長の開会あいさつで始



大会は約100人参加し開催された

まり、代議員44人中37人(9時20分現在)の出席を確認した。
最初に、齋藤執行委員長が地方本部を代表し挨拶(要旨別掲)。続いて、中村亨平和環境岩手県労働組合センター1副議長始め外部の来賓の方々や高橋本部委員長、帯広・音威子府闘争団代表、国労議員団ら内部の皆さん(別掲)から挨拶を受けた。



中村亨平和環境岩手県労働センター副議長



伊沢社民党岩手県連合幹事長



高橋国労本部委員長

来賓・メッセージ

△来賓▽(挨拶順)

中村亨平和環境岩手県労働組合センター副議長、伊沢昌弘社民党岩手県連合幹事長、瀬川正清日本共産党岩手県委員会書記長、柴谷正孝岩手県労働センター副議長、下米義孝東北労働金庫岩手県本部部長、吉田恵一全労済岩手県本部専務執行役員、浦山正年ハピネス共済会専務理事、高橋伸二国労本部委員長、高野早苗国労東日本本部委員長、金児順一音威子府闘争団団長、馬小西邦弘同団事務局長、馬瀨茂帯広闘争団団長、花巻市議会議員、山崎道夫中町議会議員、星敦子北上市議会議員、木村幸弘岩手県議会議員、久保幸喜岩手県議会議員、久保幸喜岩手県議会議員、久保幸喜岩手県議会議員

大会が成立していることを宣言。議長に笹山賀廣代議員(八戸工務分会)、副議長に折戸俊幸代議員(盛岡駅連分会)を選出し、議長団の挨拶を受け議事に入った。

昼食休憩後、経過と方針に入り8人の代議員(特別代議員含む)が新幹線青森延伸関連、組織拡大、昇進試験などで発言、執行部答弁と書記長集約(裏面掲載)が行われ、拍手の中、方針が原案通り確定した。

経過と方針では、8人の代議員特別代議員から発言があった。発言要旨は次の通り。

◎千葉信吉特別代議員 (一関地区協議会代表)
▽ジャスターへの出向者組合

◎青森市議会議員選挙、斎藤憲雄氏4度目当選向け全力をあげている。支部専従者のいない中で初めての選挙、組織も減り厳しい状況、皆さんからの知人などへの呼びかけと支援をお願いする。

△1047名問題の解決はうれしいこと。雇用確保の取り組みに全力をあげていこう。
▽昇進・昇格試験8人が受験したが全員一次試験で不合格。あまりにも酷い。何らかの取り組みが必要ではないか。
▽新規採用8人が配属され、奈良岡克也議員、久保幸喜議員、木村幸弘議員そして山崎道夫議員の勝利をめざし、共に頑張ろう!(要)

方針討論

新幹線の青森延伸、組織拡大 貨物問題や昇進問題など討論

代議員(特別含む)の8人が発言



斎藤委員長あいさつ(要旨)

地方闘争委員会を代表し挨拶を申し上げます。
1047名問題、国鉄改革攻撃から今日まで国労は頑張り闘ってきた。今更ながらよく闘ってきたと思う。その過程の中で自らの命を絶ち、健康を害して亡くなった人もいます。

その後、2010年度予算(案)を小林執行副委員長が提案、承認され、組織検討委員会の設置を確認、ストライキ権確立一票投票でストライキ権を43人全員の賛成で確立した。続いて、留場義継選挙管理委員会から告示されていた地方委員15人の無投票当選(裏面)を確認した旨の報告があり、機関紙コンクルールの表彰(裏面)に移った。

◎小原典昭代議員 (青森連合分会)
▽1047名問題の解決はうれしいこと。雇用確保の取り組みに全力をあげていこう。
▽昇進・昇格試験8人が受験したが全員一次試験で不合格。あまりにも酷い。何らかの取り組みが必要ではないか。
▽新規採用8人が配属され、奈良岡克也議員、久保幸喜議員、木村幸弘議員そして山崎道夫議員の勝利をめざし、共に頑張ろう!(要)

「ひかりは北へ」。これは、いまから数10年前、東北新幹線が整備新幹線として着工されていた当時のキャッチフレーズである。来月4日、東北新幹線が新青森駅まで延伸開業となる。県都・青森市にとってはまさに「ひかり」なのである。けれども、光には必ず影が付きまとう。八戸・青森間の経営分離は延伸開業という光の「陰」である。地元利用者にとっては重い負担を強いられるだけに、華やかなりは浮かれてはいられない。10月1日、盛岡駅が開業120周年を迎えた。単線非電化で始まった東北本線は「43・10ダイヤ改正」で複線電化へと大きく発展を遂げ、今日に至った。その東北本線が盛岡で断ち切られる。されども、線路は北海道まで続き、「東北本線」は北の大地と首都を結ぶ物流の大動脈である。ことに変わりはない。「鉄路を残す」ためにも、国による支援は必要不可欠である。「交通基本法」制定を掲げる民主党・社民党の奮闘に期待をしたい。青森市議選が行われ、斎藤憲雄氏が4期目の議長確保を果たした。厳しい選挙戦を闘い抜いた全ての仲間のみならず心から敬意を表したい。青森市政は、新幹線の青森駅開業によって、大きな課題を背負うことになる。そうした中で、鉄道に働く者の声を行政へ反映させていくことは極めて重要である。来春は統一地方選挙が控えている。地方本部の真価が問われることになる。JR不採用問題を解決した力をバネに、奈良岡克也議員、久保幸喜議員、木村幸弘議員そして山崎道夫議員の勝利をめざし、共に頑張ろう!(要)

ていこう

「ひかりは北へ」。これは、いまから数10年前、東北新幹線が整備新幹線として着工されていた当時のキャッチフレーズである。来月4日、東北新幹線が新青森駅まで延伸開業となる。県都・青森市にとってはまさに「ひかり」なのである。けれども、光には必ず影が付きまとう。八戸・青森間の経営分離は延伸開業という光の「陰」である。地元利用者にとっては重い負担を強いられるだけに、華やかなりは浮かれてはいられない。10月1日、盛岡駅が開業120周年を迎えた。単線非電化で始まった東北本線は「43・10ダイヤ改正」で複線電化へと大きく発展を遂げ、今日に至った。その東北本線が盛岡で断ち切られる。されども、線路は北海道まで続き、「東北本線」は北の大地と首都を結ぶ物流の大動脈である。ことに変わりはない。「鉄路を残す」ためにも、国による支援は必要不可欠である。「交通基本法」制定を掲げる民主党・社民党の奮闘に期待をしたい。青森市議選が行われ、斎藤憲雄氏が4期目の議長確保を果たした。厳しい選挙戦を闘い抜いた全ての仲間のみならず心から敬意を表したい。青森市政は、新幹線の青森駅開業によって、大きな課題を背負うことになる。そうした中で、鉄道に働く者の声を行政へ反映させていくことは極めて重要である。来春は統一地方選挙が控えている。地方本部の真価が問われることになる。JR不採用問題を解決した力をバネに、奈良岡克也議員、久保幸喜議員、木村幸弘議員そして山崎道夫議員の勝利をめざし、共に頑張ろう!(要)



音威子府闘争団・金児団長と小泉事務局次長(左)



帯広闘争団・馬淵夫妻

今日までの 支援に感謝

音威子府帯広両団長が挨拶

大会には、不採用問題の訴訟上での和解を受け、音威子府闘争団から金児順一団長と小西邦弘同団事務局次長、帯広闘争団から馬淵茂夫妻が参加した。

加し挨拶を受けた。

この間、皆さんをはじめ全国の仲間からの支援の中、闘

馬淵茂団長

雇用・年金・解決金に一定の成果があり、裁判上での和解が図られた。しかし、雇用問題はまだまだ残っている。公的部門への雇用の確保要請については、元国労本部青年部長で現在、北海道道議の池本柳次議員に依頼し取り組みを進めているところだ。今日までの全国の仲間への支援に感謝したい。自身もう60歳、年金生活に入るが、今後も地域で頑張りたい。

金児順一団長

この間、皆さんをはじめ全国の仲間からの支援の中、闘

共に闘い進める 選挙闘争よろしく

＝議員団6人が参加し挨拶＝



地方議員団も大会に参加(選挙が押し迫っている斎藤憲雄青森市議と所用のため三浦敬元北上市議が不参加)し、阿部一男花巻市議(左一人目)から先に行われた市議選挙へのお礼と山崎道夫矢野町議(左二人目)、奈良岡克也青森県議(中央)、木村幸弘岩手県議(右二人目)、久保幸喜岩手県議(右一人目)から来春の統一選挙への決意、星敦子北上市議(左二人目)からそれぞれ挨拶を受けた。選挙の取り組みも確認した。

執行部・東日本本部から

執行部・東日本本部からの答弁の要旨は次の通り。

○東日本本部でも出向者連絡会の在り方は検討することとしている。労働条件の改善の問題は、6月の本社との確認のもと取り進むことになる。

○新幹線青森延伸に伴う指定席券料金の支払いについては検討していく。

組織拡大に取り組み

国労運動を若い世代へ

佐々木書記長 集約(要旨)

○組織拡大の取り組み、新規、社会人採用者と職場の中で繋がりを作り取り組んでほしい。

○労働協約問題、他労組を上回ることはできないと思うが、地方と意思統一し要求と交渉を進めていきたい。

○昇進・昇格試験、厳しい実態も報告されるが、主任合格、助役合格もおり一定の成果はある。受験に努力してほしい。

○新幹線延伸に伴う、出向、移動については交渉の中などでも公平・公正を求めていく。

○検修合理化問題、職協とも連携し取り組んでいく。

○岩泉線の崩落事故問題、役員が出向がなかったことは、率直に受け止める。ただ、問題は現在調査中であり、対応は今後意見交換し進めたい。

JR不採用問題の最終解決をめざす闘い

訴訟和解は、多くの仲間の支援、自治体決議、ILO勧告などで風化させず、国労の団結、4者・4団体の団結と裁判闘争や大衆闘争の成果であり、政権交代という面もあった。雇用の確保に向け本部

組織強化・拡大の闘い

会社の一企業一組合路線から複数労働組合を認めさせる

公共交通安全を守る闘い

盛岡以北の並行在来線は、通学・通勤・通院など生存権環境・物流上からも大切な鉄路だ。引き続き本部・岩手・青森などに設置されている各対策会議と連携し交通基本法の制定も視野に入れながら運動を進めていく。

政治闘争について

参議院選挙で与野党が逆転憲法改正論議が進む可能性があり、憲法改悪を許さない闘いを平和環境センターや平和労働組合、政党などと連携し進めていく。10月31日投票の斎藤憲雄氏の青森市議選挙での当選、来春の奈良岡・木村・久保県議、山崎町議の再選をめざし全力をあげよう。

最後に、首切りを許さず、差別を許さない国労の運動を若い世代に財産として引き継いでいくため奮闘しよう。

政治闘争について

参議院選挙で与野党が逆転憲法改正論議が進む可能性があり、憲法改悪を許さない闘いを平和環境センターや平和労働組合、政党などと連携し進めていく。10月31日投票の斎藤憲雄氏の青森市議選挙での当選、来春の奈良岡・木村・久保県議、山崎町議の再選をめざし全力をあげよう。

最優秀賞

「NRU気仙沼」

優秀賞

「Renketu」

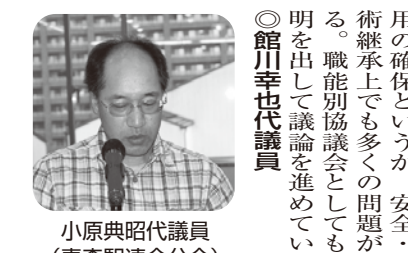
「気仙沼」が 最優秀賞

機関紙コンクール

大会で2009年度の地方本部機関紙コンクールの表彰も行われた。

応募作品は、「可動橋」青森駅連合分会、「かわら版」盛岡駅連合分会、「Renketu」(盛岡貨物分会)、「国労北上地区協」(北上地区協議会)、「NRU気仙沼」(気仙沼地域分会)の5作品。

審査は、10月12日に地方本部教宣部で行われた。最優秀賞、優秀賞は次の通り。



小原典昭代議員 (青森駅連合分会)



川原昭特別代議員 (運輸協議会代表)

川原昭特別代議員 (運輸協議会)

車両検修合理化、施策の延長線上にはエルダー社員の雇用の確保というが、安全・技術継承上でも多くの問題がある。職能別協議会としても解明を出して議論を進めている。

◎館川幸也代議員

留場義継代議員 (宮古地域分会)

岩泉線の土砂崩壊事故、茂市駅ではマスコミへの電話対応で大変だったという。支社での一元化対応は出ないものか。また、事故に対する国労

執行部・東日本本部中間答弁(要旨)

執行部・東日本本部からの答弁の要旨は次の通り。

○組織拡大の取り組み、新規、社会人採用者と職場の中で繋がりを作り取り組んでほしい。

○労働協約問題、他労組を上回ることはできないと思うが、地方と意思統一し要求と交渉を進めていきたい。

○昇進・昇格試験、厳しい実態も報告されるが、主任合格、助役合格もおり一定の成果はある。受験に努力してほしい。

○新幹線延伸に伴う、出向、移動については交渉の中などでも公平・公正を求めていく。

○検修合理化問題、職協とも連携し取り組んでいく。

○岩泉線の崩落事故問題、役員が出向がなかったことは、率直に受け止める。ただ、問題は現在調査中であり、対応は今後意見交換し進めたい。

阿保光香特別代議員 (青森支部代表)

新幹線青森延伸に伴う会議の指定席料金の支払いを検討

高橋涼特別代議員 (貨物協議会代表)

八戸臨海から東北ロジステックへの出向替えなどが行われている。ロジステックには東日本会社からも出向に出て

阿保光香特別代議員 (青森支部代表)

新幹線青森延伸に伴う会議の指定席料金の支払いを検討

高橋涼特別代議員 (貨物協議会代表)

八戸臨海から東北ロジステックへの出向替えなどが行われている。ロジステックには東日本会社からも出向に出て

高橋涼特別代議員 (貨物協議会代表)

八戸臨海から東北ロジステックへの出向替えなどが行われている。ロジステックには東日本会社からも出向に出て

闘って良かった これからもガンバロー

訴訟和解報告レセプション



2010年度 地方委員 15人を選出

2010年度の地方委員15人が次の通り選出された。

盛岡支部 9人

- 折戸 俊幸 (盛岡駅連合分会)
- 角館 武範 (盛岡施設分会)
- 佐藤 祐司 (盛岡電気分会)
- 館川 幸也 (盛岡貨物分会)
- 佐藤 弦悦 (一戸地域分会)
- 稲葉 孝 (北上駅連合分会)
- 佐々木 孝一 (北上工務分会)
- 金野 雅之 (気仙沼地域分会)
- 小沢 万寿男 (釜石地域分会)

青森支部 6人

- 柴田 正博 (青森運輸区分会)
- 高橋 清光 (青森連合分会)
- 横浜 幸徳 (野辺地域分会)
- 前田 素行 (八戸運輸分会)
- 笹山 賀庸 (八戸工務分会)
- 野田 茂志 (八戸貨物分会)

JR不採用問題訴訟和解

指示のもと本部に集中し機敏に対応していく。

△一括和解以降の職場の取り組みと労働条件改善、安全・安定輸送確保の闘い

会社との一括和解後も職場状況は変わらないという声もあるが、昇進試験の複数合格、長期単身赴任の解消、限定運転士への合格など変化はみられる。和解の主旨、差別をなくし対等な労使関係をめざし、職場での話し合い、意見交換が持てるよう取り組んでいく。また、仕事総点検・安全総点検を取り組み、効率化施策の検証を進めていく。12月ダイヤ改正、設備・電気部門のメンテナンス体制、検修合理化などには、技術継承問題も含め取り組む。出向・配転は、本人希望、公平・公正な扱いを求めていく。出向先の問題は、東日本本部と会社の確認に沿って改善を努める。来春闘いは、貨物会社12年連続のベア・ゼロを許さないために、本部や貨物協議会、東北協議会と旅客・貨物一体で闘

JR不採用問題訴訟和解

指示のもと本部に集中し機敏に対応していく。

△一括和解以降の職場の取り組みと労働条件改善、安全・安定輸送確保の闘い

会社との一括和解後も職場状況は変わらないという声もあるが、昇進試験の複数合格、長期単身赴任の解消、限定運転士への合格など変化はみられる。和解の主旨、差別をなくし対等な労使関係をめざし、職場での話し合い、意見交換が持てるよう取り組んでいく。また、仕事総点検・安全総点検を取り組み、効率化施策の検証を進めていく。12月ダイヤ改正、設備・電気部門のメンテナンス体制、検修合理化などには、技術継承問題も含め取り組む。出向・配転は、本人希望、公平・公正な扱いを求めていく。出向先の問題は、東日本本部と会社の確認に沿って改善を努める。来春闘いは、貨物会社12年連続のベア・ゼロを許さないために、本部や貨物協議会、東北協議会と旅客・貨物一体で闘

JR不採用問題訴訟和解

指示のもと本部に集中し機敏に対応していく。

△一括和解以降の職場の取り組みと労働条件改善、安全・安定輸送確保の闘い

会社との一括和解後も職場状況は変わらないという声もあるが、昇進試験の複数合格、長期単身赴任の解消、限定運転士への合格など変化はみられる。和解の主旨、差別をなくし対等な労使関係をめざし、職場での話し合い、意見交換が持てるよう取り組んでいく。また、仕事総点検・安全総点検を取り組み、効率化施策の検証を進めていく。12月ダイヤ改正、設備・電気部門のメンテナンス体制、検修合理化などには、技術継承問題も含め取り組む。出向・配転は、本人希望、公平・公正な扱いを求めていく。出向先の問題は、東日本本部と会社の確認に沿って改善を努める。来春闘いは、貨物会社12年連続のベア・ゼロを許さないために、本部や貨物協議会、東北協議会と旅客・貨物一体で闘